

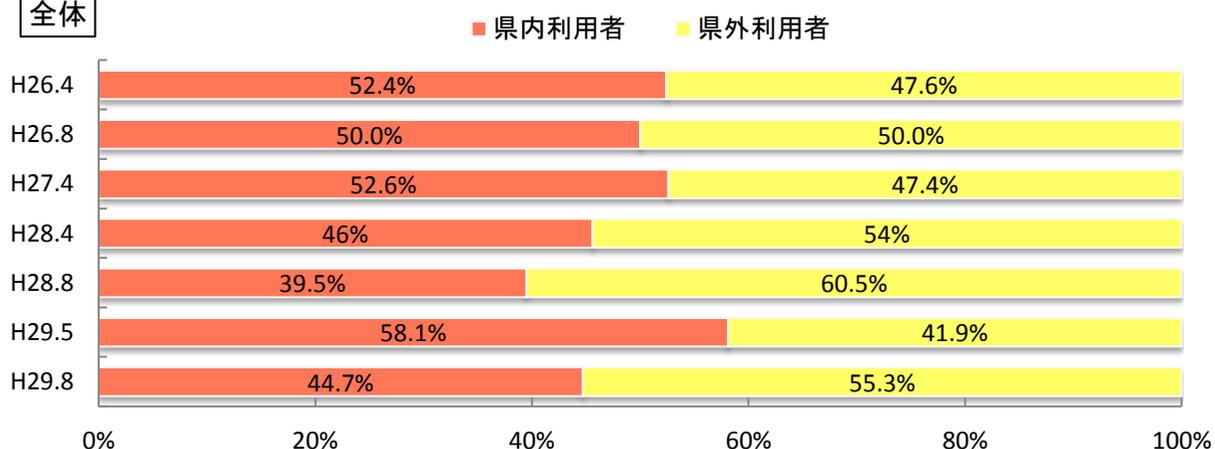
## 平成29年度 第2回 信州まつもと空港搭乗者アンケート調査 (札幌便・福岡便) (平成29年8月24日～30日) における利用者の動向

- |          |                             |          |         |
|----------|-----------------------------|----------|---------|
| 1 実施期間   | 平成29年8月24日(木)～30日(水)        |          |         |
| 2 調査方法   | 信州まつもと空港搭乗待合室で配布し同室内で回収する方式 |          |         |
| 3 調査対象   | 信州まつもと空港定期便の出発便の搭乗者         |          |         |
| 4 有効回収票数 | 札幌便 356票                    | 福岡便 556票 | 合計 912票 |

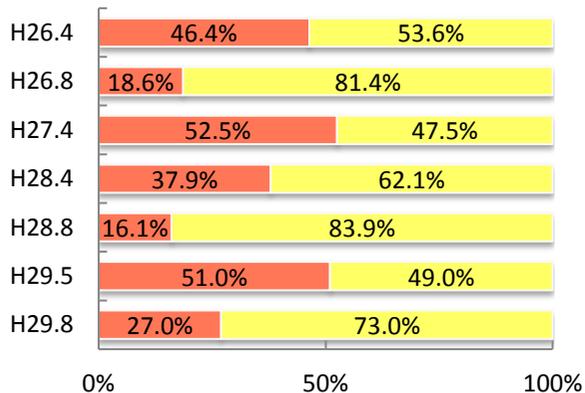
### 【県内・県外利用者の状況】

定期便全体では、県内利用者の割合が44.7%、県外利用者の割合が55.3%となった。  
 路線別では、福岡便は、県内利用者の割合が27.0%、県外利用者の割合が73.0%となっており、過去の8月の調査同様、県外利用者の割合が高くなっている。  
 一方、札幌便では、県内利用者の割合が72.5%、県外利用者の割合が27.5%となっており、過去の調査と同様に県内利用者の割合が高くなっている。

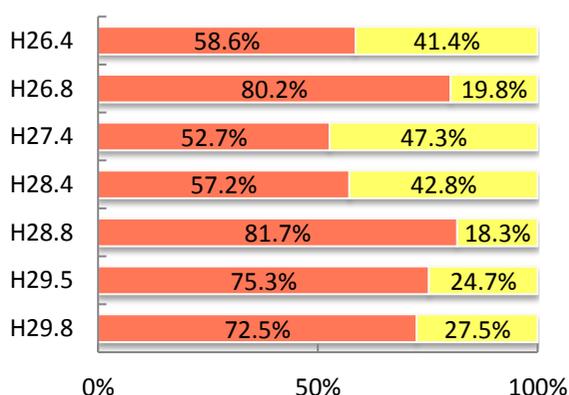
#### 全体



#### 福岡便



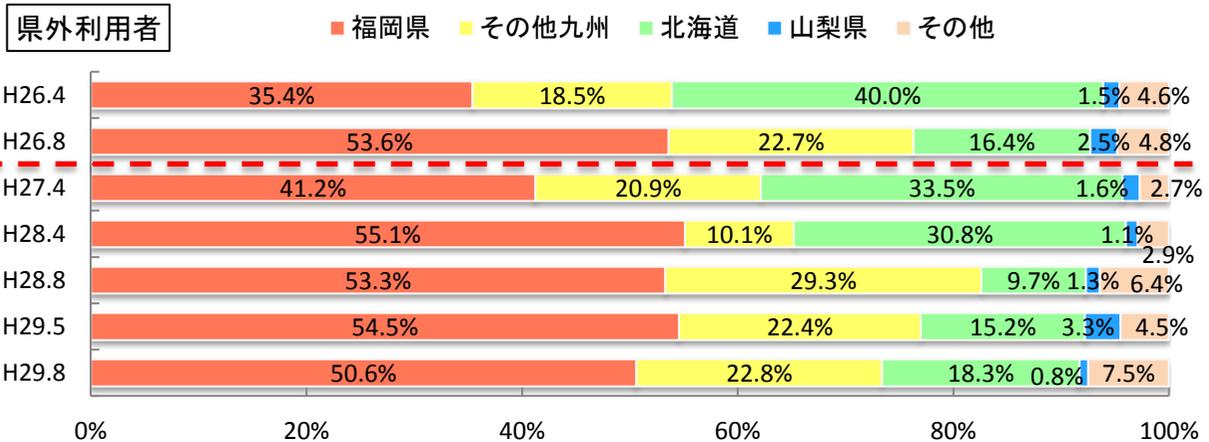
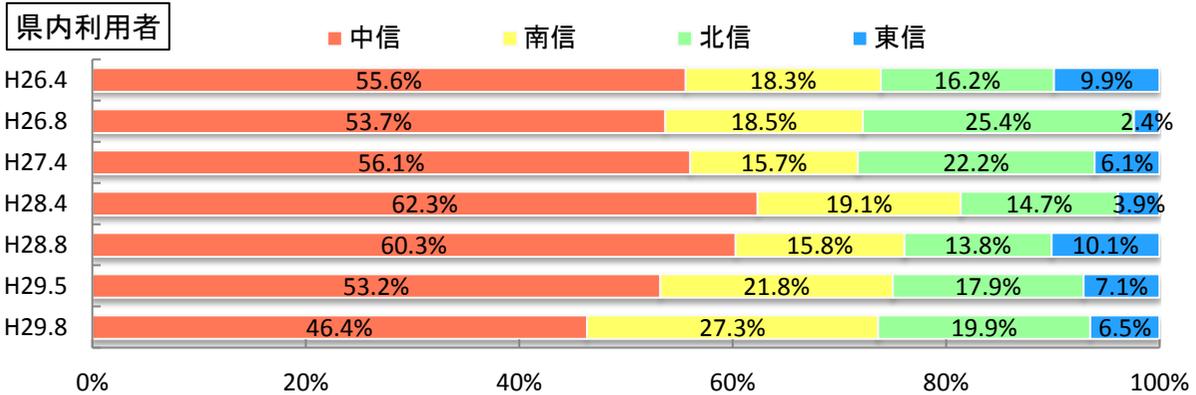
#### 札幌便



## 【利用者の居住地】

居住地別に見ると、県内利用者では中信が半数を割り込んだ一方で、南信が、昨年8月の調査と比較し11.5ポイント増の27.3%、北信も6.1ポイント増の19.9%と増加したが、東信の利用者は3.6ポイント減少した。

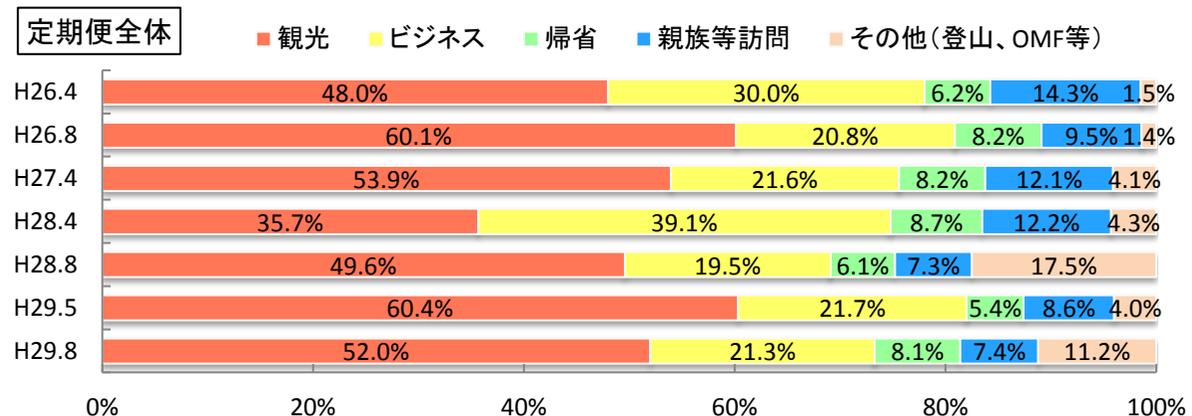
県外利用者では、福岡県を含めた九州地区からの利用者が合計73.4%と高い傾向を示している。なお、山梨県からの利用者は0.8%と少ない状況。



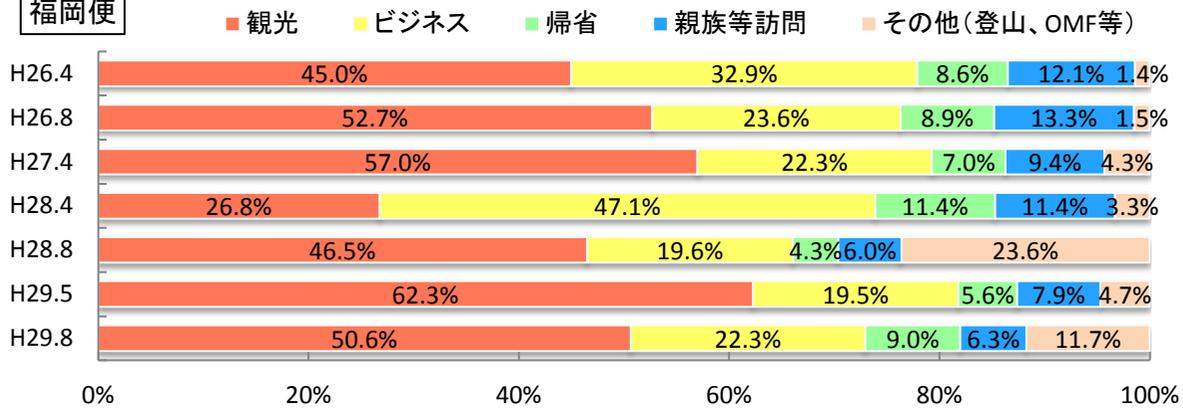
## 【旅行目的】

旅行目的については、定期便全体で観光が52.0%となっており、これまでの調査同様半数を占めている。路線別に見ても、福岡便・札幌便ともに観光が半数以上を占めている。

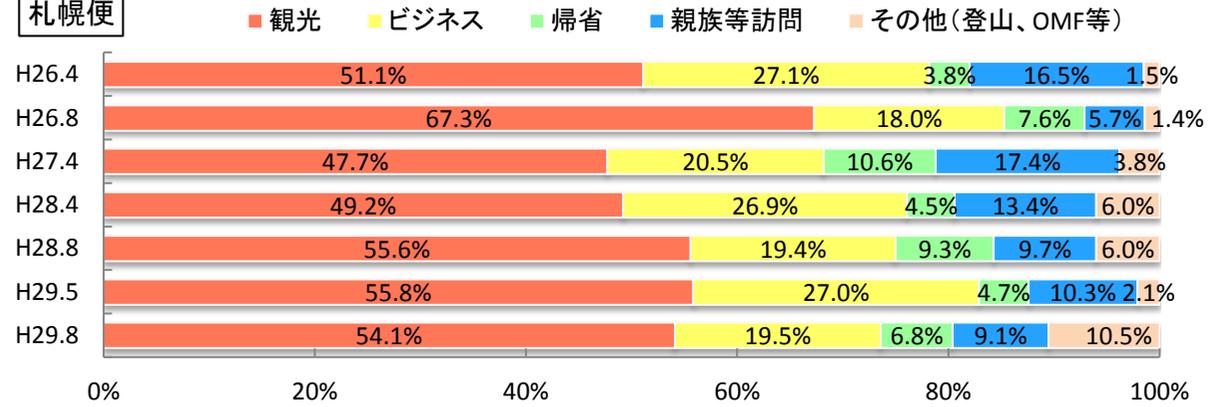
一方、ビジネスは21.3%で、これまでの調査同様、平均で2割～3割の一定程度のビジネス需要があることがわかる。



**福岡便**



**札幌便**



**【参考:その他調査項目】**

